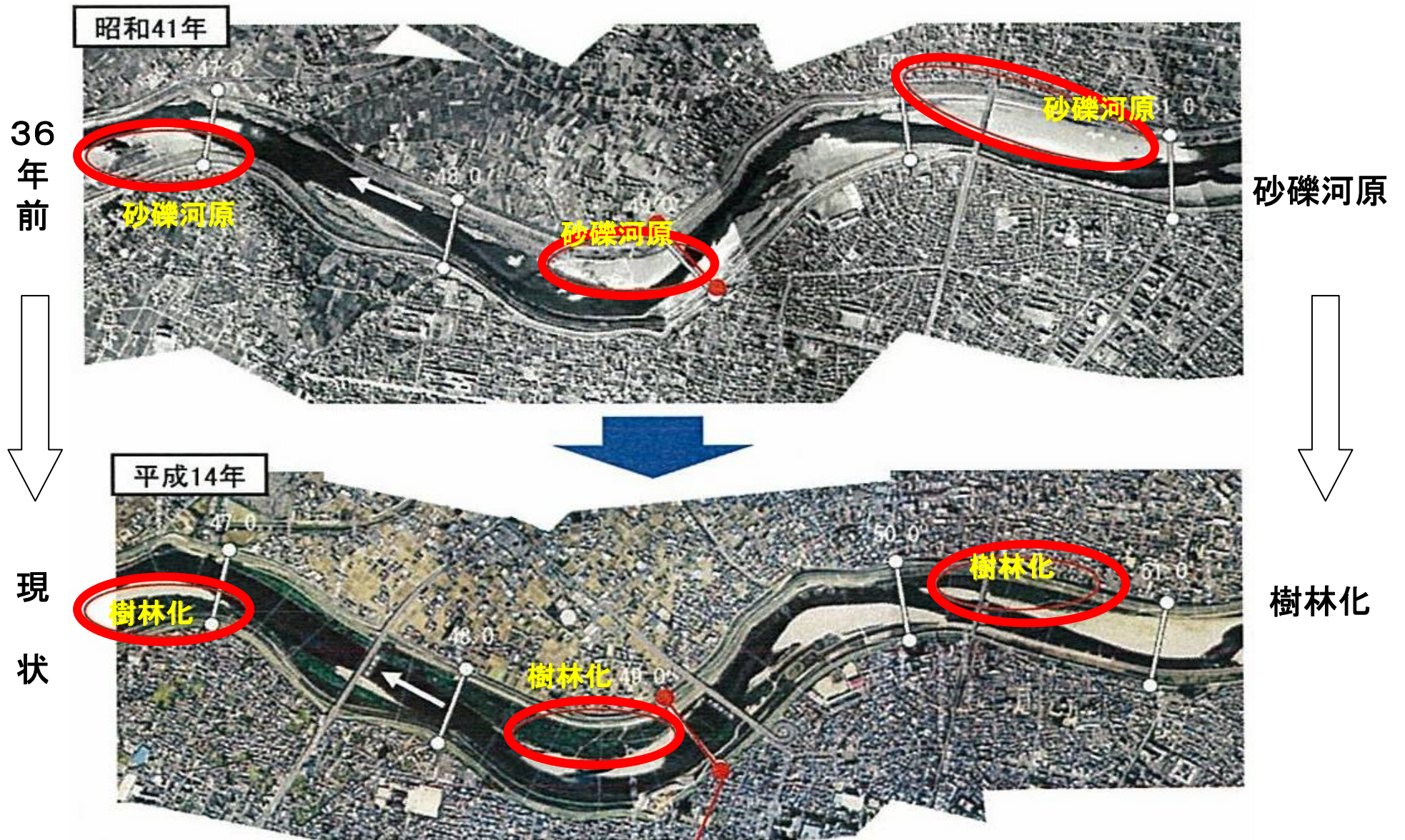


長良川 樹木伐開について

河原の変遷

長良川の例



樹林化による問題点

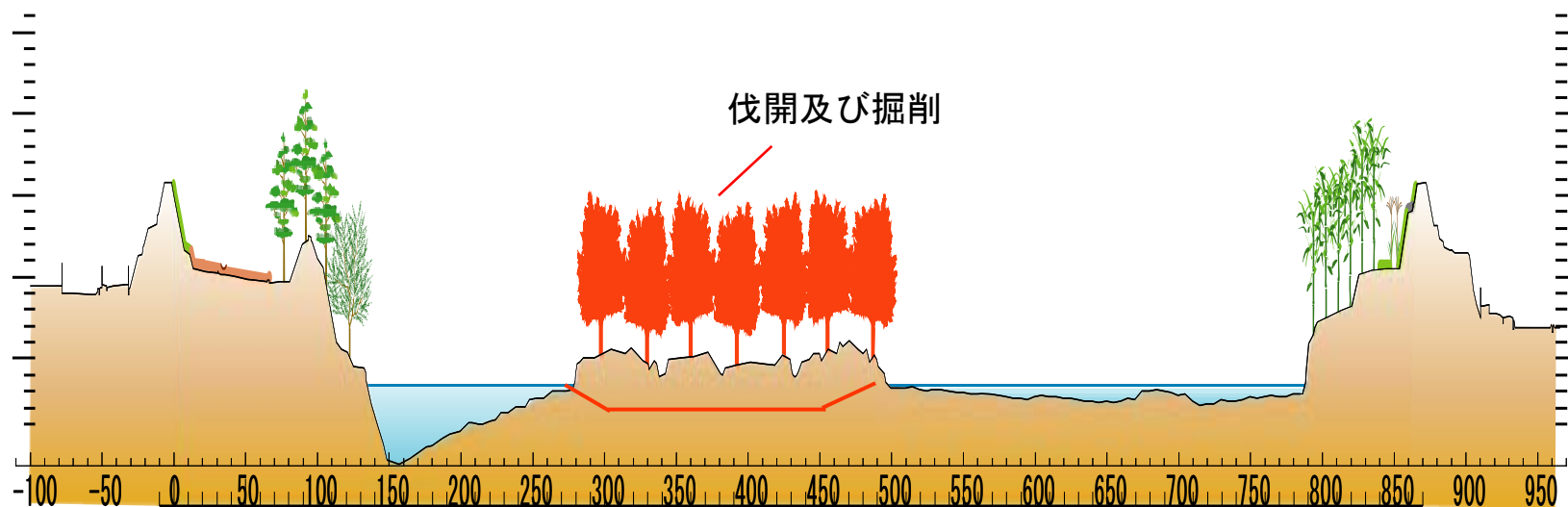
支川排水の阻害の例



流木やゴミが引っかかり、流れの阻害となる例



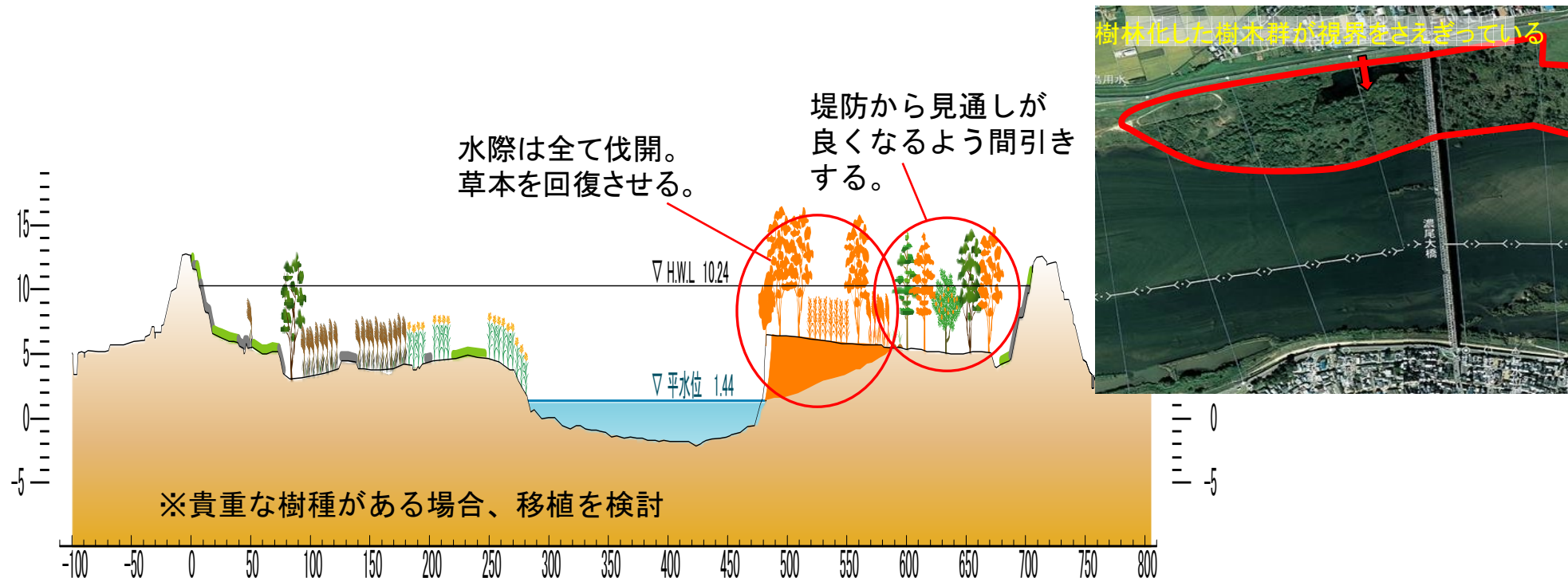
樹木伐開案①



(洗掘・浸食防止)

中州の発達・樹林化により滞筋が固定化され深掘れなどにより護岸等の管理施設に影響がある箇所では、中州に生育する樹木を伐開するとともに、中州部分の盤下げにより滞筋を河川中央に寄せることで、水際線に多様な湿地環境の形成を図る。

樹木伐開案②

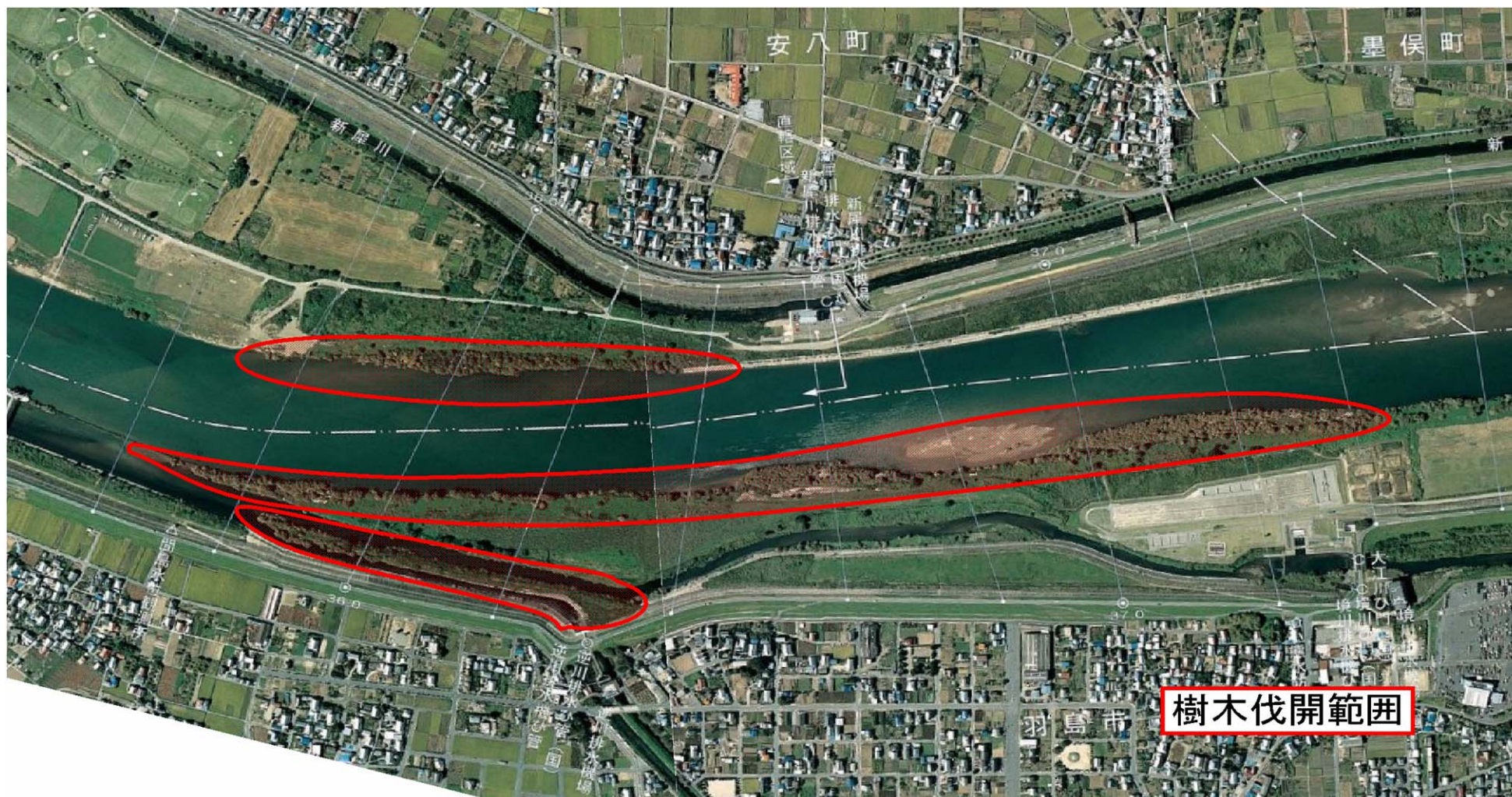


(河川巡視、CCTV、犯罪対策)

樹木が繁茂し、河川巡視の際の堤防上からの視程障害やCCTV等の視界をさえぎる箇所について、生息環境へ影響が少ない範囲で樹木を伐開する。なお、伐開に際しては、再び樹木が生育しないよう可能な限り盤下げを行い、水際の草地の回復などを検討する。

樹木管理

平成20年度 長良川樹木伐開予定箇所 写真



樹木伐開の進め方

基本的な考え方の提案

- ・事務所のホームページ等で伐開計画概要、伐開箇所及び伐開方法(案)等の情報を公開



地域の方々の意見を聴取

- ・NPO、漁協、野鳥の会等へのヒアリング及び地域の方々から意見をいただく



樹木伐開

- ・上記の意見を参考に樹木伐開計画を修正し、伐開を実施する